単元名

~ 『和の文化を受けつぐー和菓子をさぐるー』より~

和の文化をパンフレットで広めよう

教科書出版社名(東京書籍)

○ 小学校(5)年 教科等(国語)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

- ・文章と資料を結びつけるなどして必要な情報を見つけ、論の進め方について考える。
- ・情報と情報の関係付けの仕方を理解する。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

- ・伝えたい和の文化について、必要な資料などの情報を集める。
- ・集めた情報を整理し、構成に合わせて取捨選択する。
- ・引用したり目的に応じて資料を用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- ●情報収集…伝えたい和の文化について、図書資料やインターネットなどで情報を集め、情報カード に書きためていく。
- ●整理・分析…思考ツールを用いて構成を考え、それに合わせて情報カードを整理する。
- ●まとめ・表現・発信…オンラインデザインツールを用いて、新聞やパンフレットにまとめる。

○ 学習の展開(全13時間)(学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

第1次	〇『和の文化を受けつぐ』を読み、筆者の論の進め方について考える。	
(5 時間)	・筆者の「和の文化」に対する考えと構成を読み取る。	
	・筆者が用いた資料の効果について考える。	
第2次	O「和の文化」について情報を集め、パンフレットを作る。(☆)	
(8 時間)	・伝えたい和の文化について、図書資料やインターネットなどで情報を集める。	
	・思考ツールを使って構成を考え、情報を整理する。(本時)	
	・報告の文章を、新聞やパンフレットにまとめる。	

☆学校図書館等活用(本時)の学習

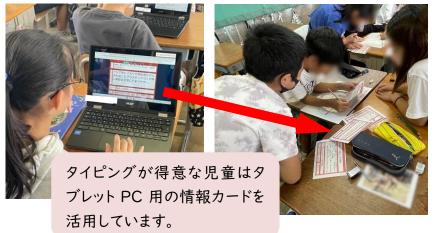
本時のねらい

伝えたい和の文化について集めた情報を整理し、報告する文章の構成を考える。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点	
5	1.前時までの学習をふりかえる。		
	集めた情報を整理し、構成を考えよう		
20	2.グループで話し合い、集めた情報を思考ツール(フィッ		
	シュボーン図)に整理する。		
	・受けついでいきたいことが伝わるような構成を考える。	・書き溜めた情報カードを用	
	・これまでに書き溜めた情報カードを整理する。	意する。(タブレット PC 用	
	①紹介 ③	情報カードは予め印刷して	
		් _{ති} <ු) 🤇	図書館活用 ポイント
		 ・思考ツールを拡大掲示	
		し、例を見せる。	
	\ \ \	・集めた情報をすべて使うの	
	を受け継ぐために	ではなく、伝えたい観点に	
		合わせて取捨選択させる。	
	②		
17	3. 観点に合う図表や写真などの資料を選ぶ。	・図書資料やインターネット	/
	・読み手に伝わりやすい資料を選ぶ。	資料を用いて探すようにさ く	図書館活用 ポイント
		せる。	7
		・文だけではわからない情報	
		が詳しくわかる資料を選ぶ	
3	4. ふりかえりと次時の学習の見通しをもつ。	ように声かけする。	







フィッシュボーン図を使い、 文章の構成を考えました。



文章をパンフレットや新聞にまとめ、 学校図書館にて掲示しています。

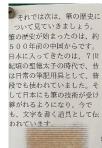














じく

中国の筆

※以来の作り方を見てみましょう。 第は、個人さんが他やな上でいるこな して作っています。まずるを分けて設 時間にてかんそうさせて長さごとに力 ります。毛に無金加えて灰を使って、 在をもみます。 5%と高せるを使って、 在をもみます。 1を組み合わせま す。 はほぎじくにつけてふのりをつけ たら流度します。 これらの出てきた手板とどがなけり は、支えている人とよって受けつがわいます。 ススでいる人とよって受けつがわいます。 は何ることはできません。 第二人日 は刃動所さんです。 二人日は以ば何る とがこれるようなとなっている人とは一次 まず、日は原毛温さんです。 二人日 は刃動所さんです。 二人日は以ばれるとなってまるか。はもみがらはもかがをもらっています。 まる人からはもみがをももっない。 まったからはもみがをももっない。 まったからはもみがをもらっています。 まったからはもみがをもらっています。 まったからはもみがをもらっています。 まったからはもみがをもらっています。 まったがらはいものかたいまです。 これらが、他方しもって一本の葉がで